

この予定表は一般的・標準的な治療の経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により多少変わることがあります。

年 月 日

項目	時間枠	手術日	
	月 日 (手術前日)	手術前	手術後
患者目標	手術に向けて、体の準備、心の準備ができる。 手術後必要な物品の準備ができる。 (T字帯2枚、バスタオル1枚、薬のみまたはストロー) 手術後の状況が理解でき、不明点があれば医療者に質問し、解決できる。 家族は手術当日の来院時間、場所が分かる。	手術に向けて、体の準備、心の準備ができる。 食べたり飲んだりしないことが守れる。	手術後必要な処置を受け入れることができる。 傷の痛み、吐き気や頭痛など自覚症状出現時、医療者に伝えることができる。 手術後の禁止事項(指示があるまで安静が必要なこと、飲水や食事も指示があるまでできないこと)が守れる。 むせずに飲水できる。
治療処置	夕食後か寝る前に、下剤の薬を飲みます。	手術室は3階です。 手術は、 番目です。一番目の方は、8時頃に手術室へ行きます。 二番目以降の方は、連絡が来てから手術室へ行きます。 朝、浣腸を行います。	医師の指示で、麻酔が覚めるまで酸素マスクをつける事があります。  痛みがあるときは痛み止めを使いますので、お知らせください。
検査		特に予定をしている検査はありません。検査があれば、随時お知らせします。	
患者様及びご家族への説明	主治医、病棟看護師が、入院後の予定や手術の追加説明について説明します。 手術を担当する麻酔科医、手術室看護師が手術中の事について病室で説明します。	ご家族は、手術開始30分前には、直接病棟へおこしてください。 手術中ご家族は、食堂またはお部屋でお待ちいただきます。 手術終了までは、どなたか必ず7階のデイルームまたはお部屋に待機していただくよう、お願い致します。	ご不明などありましたら、遠慮なくお尋ねください。
検温	入院時に検温(熱、脈拍、血圧測定)をします。	朝、浣腸前に検温をします。	手術後は適宜、検温をします。
安静度(活動)	特に制限はありません。		手術後医師の指示があるまで、ベッド上で安静に過ごします。 用件時は、ナースコールを押してください
排泄	特に制限はありません。 便秘症の方はお知らせください。	朝、浣腸を行います。	尿の管は入れたままです。 便意があるときは、看護師にお知らせください。
食事	食事はお部屋にご用意します。 (朝食7時頃、昼食12時頃、夕食18時頃) 夕食以降の飲食は、医師の指示に従いましょう。	朝から飲んだり、食べたりできません。	手術後、医師の指示で、水分を摂取できます。 午前中手術の方は、医師の指示で夕方より食事が開始となります。
清潔	入浴またはシャワーに入り、髪を洗いましょう。 爪が伸びている場合は、切りましょう。	手術前は制限はありません。(洗顔、歯磨き可)	手術後は、入浴・洗髪はできません。 歯磨きはできます。(看護師がベッドにご用意します)
薬剤	入院の際、内服確認のため普段飲んでいるお薬(医師から処方された薬)を一度預かります。 続けて飲む場合は、説明します。	手術前の薬は、医師の指示に従いましょう。 手術前に腕から点滴を挿入します (朝一番の手術の場合、手術室で点滴します。)	お食事が開始になれば、内服も始まります。 ただし、薬を飲まない場合は、再度お知らせします。 点滴はそのまま続けます。抗生物質や痛み止めは点滴からします。
手続きその他	診断書などの書類の申請がある場合は、外来棟の支払い窓口へ提出しましょう。 (書類にはお名前、生年月日を事前にお書きください)	時計、コンタクト、指輪、入れ歯、などつけているものをすべて取り外して手術衣に着替えます。 肺塞栓予防のストッキングをはきます。 (手術衣、肺塞栓予防のストッキングは病院で用意します)	手術当日は、肺塞栓予防のストッキングは着用したままです

入院から退院までの流れ (No.2)

病名：持続勃起症

術式：陰茎持続勃起症手術

この予定表は一般的・標準的な治療の経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により多少変わることがあります。

年 月 日

時間枠 項目	手術後 1 日目 月 日	手術後 2 日目～退院まで	退院後から再診日までの注意事項
患者 目標	手術後必要な処置を受け入れることができる。 創痛、頭痛など自覚症状出現時、医療者に伝えることができる。	手術後必要な処置を受け入れることができる。 疼痛、頭痛など自覚症状出現時、医療者に伝えることができる。 退院後の日常生活注意事項、外来受診の必要性が理解でき、実施できる。	
治療 処置	傷の消毒、ガーゼ交換を行います。 痛みがあるときは痛み止めを使います。	傷の消毒、ガーゼ交換を行います。 痛みがあるときは痛み止めを使います。	<性生活について> 次回受診時に医師に相談してください。
検 査	採血をする時は、お知らせします。	予定をしている検査はありません。	<感染予防> 傷はシャワーできれいに流し、清潔にしましょう。 傷の痛みや 38℃以上の発熱が続く場合は、ご連絡ください。
患者様 及び ご家族へ の説明	診察時に経過についてお話しします。(主治医)	退院後の注意事項についてご説明します。 (主治医、病棟看護師)	<出血予防> 自転車やバイクに乗ったりするのは、2週間は避けましょう。 激しい運動も控えてください。散歩はできます。 長風呂、温泉、サウナは2週間は控えましょう。
検 温	午前に検温をします。	午前に検温をします。	<食事・嗜好品> お食事の制限はありません。 お酒は、手術後2週間は飲まないでください。
安静度 (活動)	手術後最初に歩く時は、朝看護師と一緒に歩きます。 その後ふらつき、気分不快などなければ、お一人で歩けます。 尿の管が入っているときは、歩く時に引っ張らないよう気をつけましょう。	制限はありません。	<内服> 処方された薬は、医師の指示通りに内服しましょう。
排 泄	尿の管が入っています。 便がしたいときは、看護師が付き添ってトイレへ行きます。	尿の管が抜けた後に 4 時間しても尿が出なかったり、出にくい時、血尿が濃くなる場合はお知らせください。	
食 事	食事をお部屋にご用意します。	食事をお部屋にご用意します。	再診日は必ず受診してください。 帰宅後、初回再診日の変更を希望される場合は、総合予約室までご連絡ください。
清 潔	体を蒸したタオルで拭きます。(タオルは看護師がお持ちします) 歯磨き、洗髪、ひげ剃りはできます。	シャワーに入れます。 歯磨き、洗髪、ひげ剃りはできます。	退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安なことがありましたら、下記連絡先に、お電話をください。
薬 剤 (内服 点滴)	主治医の指示で薬を再開します。 続けて中止する場合は、再度お知らせします。 点滴はそのまま行いますが、食事は摂取でき、発熱がなければ点滴を抜きます。 点滴が抜ける時は、お知らせします。	医師の指示で、処方された抗生物質を内服してください。	宮崎大学医学部附属病院 泌尿器科外来 0985-85-9317 泌尿器科病棟 0985-85-1898 総合予約室 0985-85-1225
手続き その他	肺塞栓予防のストッキングを脱ぐ際は看護師からお知らせします。	会計は退院日に精算となります。 前もって金額が知りたい方は、看護師または事務員にお知らせ下さい。	※時間外は病棟に電話をおかけください

